

発生多発!

山岳遭難

あなたの安全対策は、本当に大丈夫?

登山の前にチェック

- ☐ 自分の体力、技能及び健康状態に合った登山ですか
- ☐ 日数合わせのために無理な行程を組んでいませんか
- ☐ 気象状況と山岳の気候特性を正しく理解しましたか
- ☐ 登山計画書は提出しましたか
- ・エスケープルート（緊急時の逃げ道）
- ・パーティ全員で検討・理解する
- ☐ 非常時のことも想定した適切な装備をお持ちですか
- ・低体温症予防の防寒着
- ・携帯電話・無線機など緊急時連絡手段
- ・冬山ではビーコンなど雪崩に対する装備
- ☐ 連絡、通報のための通信手段はありますか

山岳遭難の死亡リスク

交通事故の約96倍(10.4件に1人が死亡)

登山計画書は必ず提出しましょう。

《提出先》

- 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など
- 警察本部、警察署、交番、駐在所

《インターネットでも届出できます》

(公財)山岳ガイド協会 北海道警察

コンパス



登山計画書を提出していれば捜索活動がスムーズに行われます。

登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。

山の気候は変化が激しいので、最新の情報を確認しましょう。



気象庁のホームページ

<http://www.jma.go.jp/>

入山するときは
ポイントスルを忘れずに

少しでも無理がある時は登山を中止しましょう。事故に遭わなければ、また、いつでも登れるのです。



北海道山岳遭難防止対策協議会

近年、連続で山岳遭難が発生している山岳（平成28年～平成30年）

